

4. 全学共通の教育実習等科目

共通で開設される教育の基礎的理解に関する科目等（中学校教諭、高等学校教諭、養護教諭、栄養教諭）

免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目		必修 選択 の別	単 位 数	週 時 間	受 講 年 次	学 期	授 業 内 容	備 考
科 目	各科目に含める必要事項	科目番号	科 目 名							
教育の 基礎的 理解に 関する 科目	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	全教111	教職入門	必	2	2-0	1	前・後	教職の意義、教員の役割、職務内容、活動についての概説	中・高・養・栄
	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	全教121	教育原理	必	2	2-0	1~2	前・後	教育の理念、歴史、思想の概説を行なう	中・高・養・栄 教職入門を履修済みの
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	全教221	教育心理学	必	2	2-0	2~3	前・後	健常児及び障害児の発達、学習、評価、適応等の教育心理	中・高・養・栄
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	全教502	特別の支援を必要とする多様な子どもへの理解と支援	必	1	1-0	3	前・後	発達障害を含む特別の支援を必要とする子どもの障害の特性及び心身の発達を理解する	中・高・養・栄
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	全教215-1	教育社会学A	選必	2	2-0	2~3	前又は後	教育の実践・制度の現実を社会学の視点から考察する	中・高・養・栄 いずれか1科目選択必修
		全教215-2	教育社会学B	選必	2	2-0	2~3	前又は後	教育の実践・制度の現実を社会学の視点から考察する	
		全教216	教育の社会史	選	2	2-0	2~3	前又は後	日本国民形成論(教育論)の特質の究明	
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	全教231	教育課程	必	1	1-0	2~3	前・後	中等教育課程に関する理論と実践	中・高・養・栄	
道徳、 総合的 な学習 の時間 等の指 導法及 び生徒 指導、 教育相 談等に 関する 科目	教育の方法及び技術	全教232	教育方法	必	1	1-0	2~3	前・後	中等教育の方法に関する理論と実践	中・高
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)									養・栄
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	全教131	教育におけるICT活用	必	1	1-0	1後~2前	教育現場におけるICT(情報通信技術)の役割について理解する。	中・高	
	道徳の理論及び指導法	全教233	道徳教育の理論と実践	必	2	2-0	2~3	前・後	中等学校道徳教育に関する研究	中・養・栄
	特別活動の指導法	全教235	特別活動論	必	2	2-0	3	前・後	中等特別活動に関する研究	中・高・養・栄
	総合的な学習の時間の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	全教501	総合的な学習の時間	必	1	1-0	3	前・後	総合的な学習の時間について、教育課程における位置づけや、現在行われている実践を理解する。	中・高・養・栄
	生徒指導の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	全教241	生徒指導論(進路指導を含む)	必	2	2-0	2~3	前・後	中等学校における生徒指導・進路指導の理論・方法を学習する	中・高
	生徒指導の理論及び方法	全教241-1	生徒指導論	必	2	2-0	2~3	前・後	中等学校における生徒指導の理論・方法を学習する	養・栄
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	全教242	教育相談	選必	2	2-0	2	前又は後	児童・生徒の不応問題に関して事例を通じた相談方法の修得と進路指導の概説	中・高・養・栄 いずれか1科目選択必修
全教243		学校カウンセリング	選必	2	2-0	2	前・後	進路指導を含めたカウンセリングの理論と技術についての概説、思春期から青年期の不応問題を中心として		

免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目		必修 選択 の別	単 位 数	週 時 間	受 講 年 次	学 期	授 業 内 容	備 考
科 目	各科目に含める必要事項	科目番号	科 目 名							
		全教100	教職指導	自	1	0-2	1	前	オリエンテーション・適性判断 集中講義方式(1限から開始)	教員免許外科目
		全教301	学校教育実践指導Ⅰ	必	1	0-2	3	後	学習指導案・学級経営・生徒指導等実践的演習及び模擬授業を含む 「教職指導」を単位取得済みのこと	中・高
教育実 践に関 する科 目	教育実習	全教350	学校教育実践指導Ⅱ	必	1	0-2	4	前又は 通年	実習直前実践指導及び事後指導「学校教育実践研究Ⅰ」を単位取得済みのこと	
		全教401	中学校教育実習	選	4	3週間	4	前	中学校における教育実習「学校教育実践研究Ⅱ」を同時履修のこと	} 中免必修 } 高免選択必修
	全教402	高等学校教育実習	選	2	2週間	4	前	高等学校における教育実習「学校教育実践研究Ⅱ」を同時履修のこと		
	教職実践演習	全教411	教職実践演習(中高)	必	2	0-2	4	後	各自の履修カルテを踏まえ、実技指導、グループ討論及び補完指導等とどうして教員として必要な知識技能を修得したことを確認する	中・高 他の教職課程 科目を履修済み であること。
全教412	教職実践演習(高)									

注:前提科目

1. 教育原理

「教職入門」を履修済みであること。

2. 教育相談(教諭)・学校カウンセリング(教諭)

共通教育科目の「心の科学」、「人間関係論」又は専門教育科目の「教育心理学」を履修済みであること。

注:必修選択の別は、免許取得上の必修選択の別による。

教育実習の登録条件

教育職員免許法の改正に伴い、教育実習の登録条件が変更となりました。

詳細は次頁にて各自確認すること。

教職実践演習の登録条件

教職実践演習を除く他の免許必須科目を履修済みであること。

●教育実習の登録条件(4年次実習) (教育学部以外) 【※令和4年4月以降入学生より適用】

【登録条件】教育実習登録時に以下の(1)～(3)の条件を満たすことが必要となります。

(1)以下の科目を履修済みであること。(高免は⑫を除く、養護免・栄養免は④を除く)

- ①「教職入門」②「教育原理」③「教育心理学」④「教育におけるICT活用」⑤「教育相談or学校カウンセリング」⑥「教育課程」⑦「教育方法」
- ⑨「生徒指導論(進路指導を含む)」(※養護・栄養教諭においては「生徒指導論」)⑫「道徳教育の理論と実践」
- ⑬「各教科の指導法」の科目から4単位以上(ただし、高免の場合は4単位のうち2単位までは同時履修であることを可とする)
- ⑭「教科に関する専門的事項」に係る科目に関しては、必修単位の4分の3以上⑮「学校教育実践指導Ⅰ」

(2)以下の科目を履修済み又は同時履修中であること。

- ⑧「教育社会学A又はB」
- ⑩「特別活動論」⑪「特別な支援を必要とする多様な子どもへの理解と支援」

(3)以下の科目を同時履修すること。

- ⑯「学校教育実践指導Ⅱ」 ※栄養免は「栄養教育実践研究」、養護免は「養護実践演習」

科目名	受講年次	条件①		条件②	備考
		履修済み	同時履修		
① 教職入門	1年前期～1年後期	○			
② 教育原理	1年後期～2年前期	○			
③ 教育心理学	2年前期～2年後期	○			
④ 教育におけるICT活用	1年後期～2年前期	○			栄養免、養護免は除く
⑤ 教育相談or学校カウンセリング	2年前期～2年後期	○			
⑥ 教育課程	2年前期～3年後期	○			
⑦ 教育方法	2年前期～3年後期	○			
⑧ 教育社会学AorB	2年前期～3年後期	○	○		
⑨ 生徒指導論(進路指導を含む)	2年前期～3年後期	○			栄養免、養護免は「生徒指導論」
⑩ 特別活動論	3年前期～3年後期	○	○		
⑪ 特別な支援を必要とする多様な子どもへの理解と支援	3年前期～3年後期	○	○		
⑫ 道徳教育の理論と実践	2年前期～3年後期	○			中免、栄養免、養護免のみ
⑬ 各教科の指導法科目	2年前期～3年後期	○	※	4単位以上 (※高免については、4単位のうち2単位までは同時履修可とする。)	
⑭ 教科に関する専門的事項に係る科目		○		必修単位の4分の3以上	
⑮ 学校教育実践指導Ⅰ	3年後期	○			栄養免、養護免は除く
⑯ 学校教育実践指導Ⅱ	4年前又は通年		○		栄養免は栄養教育実践研究、養護免は養護実践演習を履修

必修・選択必修の科目で登録条件となっていない科目

科目名	受講年次
総合的な学習の時間	3年前期～